



国民春闘共闘

第32号

2017年4月27日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2017春闘・第5回賃上げ集計

最賃協定で回答前進

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は4月21日、第5回目の賃金改定集計を行い、22単産部会から報告が寄せられました。

<回答状況>

	2017年	2016年（同期）
登録組合数	823	827
回答引き出し組合数	400（48.6%）	404（48.9%）
うち金額・率の回答	290	312
うち「定昇確保」など言葉による回答	110	92
うち上積み獲得	74（18.5%）	89（22.0%）
うち妥結組合数	117（29.3%）	146（36.1%）

<回答内容>

集計方法&対象		2017年	2016年（同期）	（前年同期比）
単純平均	額（円）	5,301	5,302	- 1
	率（%）	2.01	1.95	+0.06
加重平均	額（円）	5,800	5,729	+ 71
	率（%）	2.05	2.03	+0.02
	組合員数（人）	63,809	73,340	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
247	161（65.2%）	128	33

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	247	5,345	5,305	+ 40
	率（%）	131	1.96	1.95	+0.01

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

4月21日の第5回集計には、22単産・部会から報告が寄せられました。全国港湾が4月2日のストライキを経て妥結したことを受けた検数労連、4月の集中回答指定日を経た映演労連、全倉運のほか、全労連・全国一般から新たに報告が寄せられました。

登録823組合のうち、第5回集計日までに回答を引き出したのは400組合・48.6%です。回答引出し率は前年の同期集計（2016年4月21日現在・48.9%）とほぼ同じ水準です。また、400組合のうち、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が110組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は290組合となっています。

全体として昨年同期並みの回答状況となっています。

また、回答引出し組合の18.5%にあたる110組合が2次回答以上と上積み回答を引き出しています。また、妥結組合は117組合（29.3%）となっています。

回答内容

有額回答を引き出した290組合での単純平均（一組合あたりの平均）は5,301円・2.01%で、前年同期（5,302円・1.95%）比1円減・+0.06%増となっています。また、前回集計（4月7日、5,282円・1.98%）との比較では、19円増・+0.03%増となっています。加重平均（組合員一人あたりの平均）は5,800円、2.05%で、前年同期（5,729円・2.03%）比+71円・+0.02%増、前回集計（5,762円・2.04%）比で+38円増・+0.01%増となっています。

同一組合での比較が可能な247組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,345円で、前年実績（5,305円）を40円上回っています。率では131組合の比較で0.01%増となる1.96%となっています。また、比較可能組合の65.2%にあたる161組合が前年実績以上の回答を引き出しています。

組合規模別の回答状況を見ると、組合員1,000人以上の組合が5,923円・2.07%と額・率とも全体をリードしていますが、99人以下の小規模組合の回答状況も率では2.04%～2.05%と大規模組合に迫る回答状況となっています。また、100人以上299人以下の組合の回答状況も額で5,910円と大規模組合に迫っています。

単産ごとの回答状況を見ると、映演労連、民放労連、出版労連で8000円を超える賃上げ額となっており、建設関連労連、建交労・建設の建設産業の部門がそれに続く7000円台後半の賃上げとなっています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況・最賃協定など

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、10単産159組合から234件の成果獲得の報告が寄せられています。時給制労働者では、引上げ額で130件の平均で17.5円となっています。前回第4回集計（6単産124組合187件）と比較し、新たに4単産から報告があったほか、35組合47件の報告があり、非正規の仲間の賃上げが進んでいます。

最賃協定の状況についてはあらたに全印総連、民放労連、出版労連からの回答が寄せられ、7単産58組合から成果獲得の報告が寄せられています。

時間給では 46 組合の昨年の協定から 50 円 (5.54%) 引上げ、単純平均で 905 円となっています。出版労連で、企業内最賃要求 1500 円を掲げたことで、二つの組合が、間単価を 100 円引き上げ (引き上げ率 10.0%)、1100 円の企業内最賃を実現しています。また、全印総連が童心社で企業内最賃 1500 円を獲得しています。

日額では 12 組合の単純平均で 7,068 円、月額では 16 組合単純平均で 156,091 円となっています。

**STOP 暴走政治！ 守ろういのちと平和、そして憲法
賃金底上げと雇用の安定、地場産業振興で地域の活性化**